

新型コロナウイルス感染症に ついて

施設にウイルスを持ち込まない、拡げないために

新型コロナウイルス感染症は、見つけにくい感染症です!!

- 症状だけでは新型コロナと風邪との区別はつきません。
- 発症の2日前から人に感染させると言われています。

症状の出始めの初期対応が最も重要です!!

- 無症状感染者でも他の人に感染させることがあります。

《 施設責任者の皆さんへお願い 》

- ①職員の皆さんが**率先して感染リスクが高い行動回避!**
- ②利用者・職員の検温と健康確認を行い、**体調不良者を早期発見!**
- ③症状のある利用者・職員は**早めに医療機関を受診!**
- ④職員は、軽くても**症状があれば、仕事は休む!**
体調不良の職員が**休みやすい体制や雰囲気をつくる!**

新型コロナウイルス感染症はこんな病気

新型コロナウイルス感染症の典型的な症状の経過は？

ウイルスが
侵入し感染



風邪様症状（軽症が多い）



発熱、鼻水、くしゃみ
せき、頭痛、関節痛
倦怠感、のどの痛み
味覚嗅覚の異常

肺炎・呼吸困難



ICU管理,人工呼吸器
ECMOなど



感染から発症まで
最大で14日間
(多くは2~5日程度)

軽症のまま治癒

肺炎などが悪化

重症化・死亡

高齢者は若年層に比べ感染してしまうと重症化するリスクが高く、
50歳代以下では重症化率は0.3%、死亡率は0.06%ですが、
60歳代以上になると8.5%が重症化し、死亡率は5.7%に上昇します。

ワクチン接種で重症化することを防ぐ効果が期待されます。
ただし、ワクチン接種した方も感染することありますので、
引き続き感染対策は徹底してください。

これだけはやってほしい施設等での感染対策

マスク着用の徹底

- ・マスクは鼻と口を覆って正しく着用し、マスクを外した時は会話を控えましょう。
- ・利用者が自室から出る場合は、できる限りマスクの着用を促しましょう。



こまめに換気

- ・空気の通り道を確保しましょう。（2方向から空気の出入れを）
- ・30分に1回は空気の入替えをしましょう。



施設の消毒

- ・70%以上のアルコールや0.05%以上次亜塩素酸ナトリウム溶液をペーパータオル等に染み込ませ、ふき取り消毒を行いましょう。



※次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムは違うものです。

消毒計画を立てて、毎日実施しましょう

こまめに手洗い

- ・食事の前には手を洗いましょう。
- ・水と石けんを使ってしっかり洗いましょう。
- ・1処置1ケアごとに、手が洗えない時は、70%以上のアルコールで消毒しましょう。



【よく触れるところの例】

食事前後の机やいす、ドアノブ、手すり、スイッチ、蛇口、リハビリ用具等

職員や利用者感染者が発生した時の対応

施設責任者の方

普段から準備



松山市保健所

保健所



○資料の整理

事業所の見取り図、職員名簿、利用者名簿、勤務体制表、利用者の介護・看護記録、面会簿、外部業者の出入状況など

○保健所の調査等

基本的には電話で調査します。
必要に応じて施設に伺う場合もあります。

○基礎情報の整理（リストにしておく）

氏名、フリガナ、生年月日、性別、住所、連絡先、基礎疾患の有無、ワクチン接種有無（職員）職種（利用者）要介護度、家族連絡先

（調査内容）

- ・施設の規模（職員数、利用者数）
- ・体調不良者の有無
- ・利用者の介護・看護内容
- ・イベントや作業療法の参加記録
- ・昼食時の配席
- ・外部との接触状況
- ・日頃から行っている感染対策

陽性者発生!!

○保健所調査の担当者を決定

○体調確認、施設の消毒、ゾーニング

- ・職員や利用者の健康状況確認
- ・施設の消毒実施

○必要資料の送付（別添①②③など）

○検査対象者（健康記録表、職員、利用者）のリスト作成、提出

○PCR検査への協力

（感染対策の助言）

- ・施設の消毒方法、ゾーニング

○検査対象者、濃厚接触者の範囲を決定